書式第１２号（法第２８条関係）

令和７年度　活動報告書

令和７年４月１日から令和８年３月31日まで

特定非営利活動法人センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

1. 事業の成果

A　環境教育の事業

A.1　環境教育プログラム研究開発・実践活動・発信活動

A.1.1　環境教育プログラムの研究開発

- 年間６回開催した環境学習体験会（プログラムづくりワークショップ）を軸に環境教育のプログラムづくりが進められた。内容は以下の通り。

月日	内容	場所	体験とプログラム教材開発	参加数	スタッフ
5月25日	第1回環境学習体験会	エコポリスセンター	プログラム「ビオトープをつくろう」「外来種から在来種を守ろう」の体験・ビオトープ用のカードづ	11	5
6月22日	第2回環境学習体験会	エコポリスセンター	プログラム「ビオトープをデザインしよう」の体験・ビオトーププログラムを検討しよう	9	5
9月28日	第3回環境学習体験会	エコポリスセンター	プログラム「綿から糸を紡ごう」「糸から布を作ろう」の体験・新規プログラムづくり①	10	5
11月23日	第4回環境学習体験会	エコポリスセンター	プログラム「風となかよし」「水となかよし」の体験・新規プログラムづくり②	6	5
1月25日	第5回環境学習体験会	エコポリスセンター	プログラム「どんぐりコロコロ お山はおおさわぎ」の体験・新規プログラムづくり③	10	5
3月23日	第6回環境学習体験会	エコポリスセンター	ネイチャーゲーム体験「はじめまして」・新規プログラムの発表	12	6
				58	31

環境学習体験会では、「ビオトープをデザインしよう」の実証授業や「綿から糸をつむごう」での織物体験など、新規プログラムの洗練化に向けた内容の体験を行なった。計６回の活動に89人（うちスタッフ31人）が参加し、活発な議論が行われた。

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	**2025**
回数	-	-	-	-	-	-	-	7	8	6	8	7	6	9	9	9	8	9	**6**
参加者数	-	-	-	-	-	-	-	74	82	74	166	101	82	152	146	132	106	173	**89**
1回あたり	-	-	-	-	-	-	-	10.6	10.3	12.3	20.8	14.4	13.7	16.9	16.2	14.7	13.3	19.2	**14.8**

12 月以降に行った新規プログラムづくりの活動では、自然体験用のカードと「プラスチックごみを減らそう」で活用するプラごみが自然に広がる様子を疑似体験できる活動の提案があった。

- 継続して行っている環境学習プログラム研究会は、臨機応変に実施できるプログラム開発の場となっており、今年度は周年冊子の検討を中心に行い、地球環境基金の助成事業である「ビオトープがつなぐ板橋の自然プロジェクト」に関する検討も行った。内容は以下の通り。

月日	内容	場所	主な検討内容	参加数
4月20日	第1回研究会	エコポリスセンター	周年記念冊子の編集作業等	4
6月14日	第2回研究会	エコポリスセンター	周年記念冊子の編集作業等	6
7月6日	第3回研究会	エコポリスセンター	周年記念冊子の編集作業等	4
8月17日	第4回研究会	エコポリスセンター	周年記念冊子の編集作業等	7
3月26日	第5回研究会	エコポリスセンター	次年度の研究に向けた話し合い	5
				26

計 5 回の活動に 26 人が参加した。今後、現役の教員などの参加が増える活動へと推移させていきたい。

- プログラム開発は、周年記念冊子の発行に合わせた資料の整理などを中心に行った。冊子に掲載されたプログラムは以下の通り。

＜自然体験プログラム（自然生態系分野）＞

	保育園 幼稚園	小学校			中学校
		低学年	中学年	高学年	
季節の自然を感じよう ～いも虫のたからぶくろ～	■	■			
自然の中のふしぎな形をみつけよう	■	■			
自然の中のいろんな色をみつけよう		■			
好きな色はどこにある			■		
自然の中のかくれた言葉をみつけよう		■	■		
木の表情ってどんなだろう	■	■			
学校の木を決めよう			■		
花と葉っぱでファッションショー	■				
木の精キロリのひみつのいのり	■	■			
どんぐりコロコロ お山はおおさわぎ	■	■			
ビオトープってなんだろう？				■	■
外来種から在来種を守ろう				■	■
地域の自然を学ぼう				■	■
ビオトープをデザインしよう				■	■
チリメンモンスターを仲間分けしよう			■	■	
ヤゴ救出大作戦			■		

＜食と暮らしのプログラム（循環型社会分野）＞

	保育園 幼稚園	小学校			中学校
		低学年	中学年	高学年	
大豆ってすごいぞ			■	■	■
手前みそをつくろう			■	■	■
学校産のとうふをつくろう			■	■	■
綿を育てよう	■		■	■	■
綿から糸を紡ごう			■	■	■
糸から布をつくろう			■	■	■
箸をつくろう				■	■
土の小人 ～コンポストをつくろう～	■	■			
ごみから地球温暖化を考えよう			■		
プラスチックごみを減らそう				■	■
食べ物はどこから ～食料自給率を考える～				■	■
食べ物はどこから ～フードマイレージを学ぶ～				■	■
ペットボトルの水					■

＜自然エネルギープログラム（地球温暖化分野）＞

	保育園 幼稚園	小学校			中学校
		低学年	中学年	高学年	
風となかよし ～風の力で遊ぼう～					
風となかよし ～風の力で発電しよう～					
お日さまとなかよし ～お日さまの光で遊ぼう～					
お日さまとなかよし ～ソーラークッカーに挑戦しよう～					
水となかよし ～水の力で遊ぼう～					
水となかよし ～水の力で発電しよう～					
環境への負荷を減らすこれからのエネルギーを考えよう					
地球温暖化を防ぐ緑の力					
放射線による内部被曝から体を守る生活の仕方					

＜分野横断型プログラム＞

	保育園 幼稚園	小学校			中学校
		低学年	中学年	高学年	
５０年後の私たちのまちを考えよう					
住み続けたい私たちのまちを考えよう					
環境キャリアを考えよう					

A.1.2 環境教育プログラムの発信活動

- 周年記念冊子「環境学習実践ブック ～自然への感動を通して、いのちを見つめる～」を発行した。
- 2015 年に出版した「みんなワクワク どんどん使える センスオブアースの環境教育実践集」の販売に関しては課題が残った。
- HP 版プログラムバンクを適宜更新した。
- 環境教育プログラムに関して、周年記念冊子をもとに広報を進めた。

A.1.3 SOE ニュースの発行

- 年間 6 回のニュース発行を実施。板橋区内の全保育園・小中学校や教育委員会・各種報道関係など、毎月約 3,500 部を発送した。昨年度から SOE ニュースを印刷業者へ発注し、カラー印刷へと移行している。より鮮明に活動の様子を伝えられるようになった一方で、費用面の課題が残っている。
- 2022 年 9 月より SOE ニュースの PDF データを送付するメールニュースの配信を開始した。今後、登録者数を増やし、リード層であるニュース読者の拡大を目指していく。
- ニュース発送作業も継続的に実施した。6 回の活動で、延べ 43 人の参加があった。1 回あたりの参加者は 7.2 人となり、昨年の 8.1 人からは減少した。

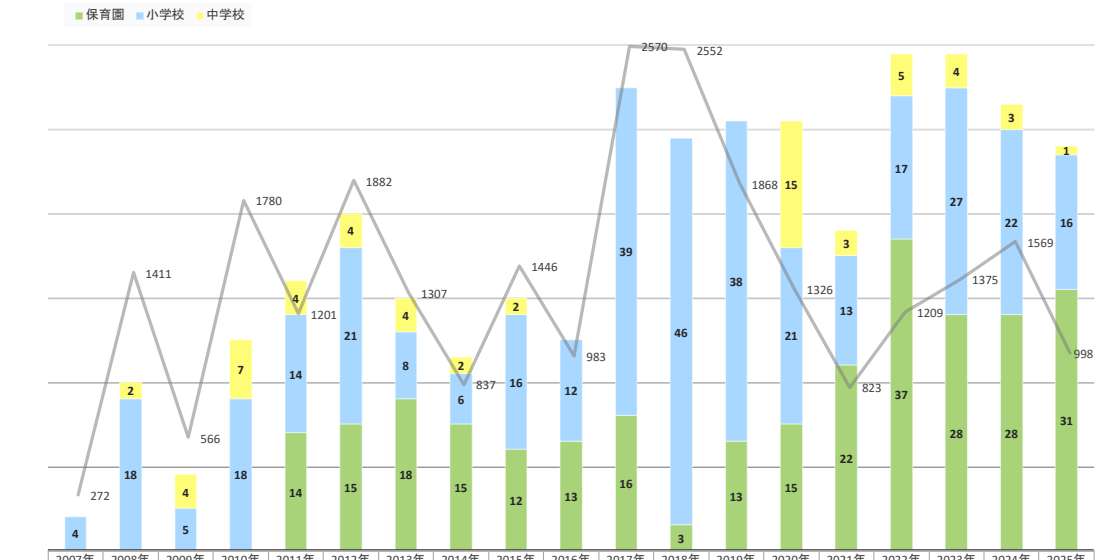
	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	**2025**
回数	-	-	17	14	18	22	22	17	13	13	11	11	11	9	10	11	11	8	**6**
スタッフ数	-	-	134	85	91	115	108	98	88	73	68	63	74	55	65	78	75	65	**43**
1回あたり	-	-	7.9	6.1	5.1	5.2	4.9	5.8	6.8	5.6	6.2	5.7	6.7	6.1	6.5	7.1	6.8	8.1	**7.2**

A.1.4 環境教育プログラムの実践活動

- 21 の保育園・小学校・中学校で、年間 48 回（うち 6 回があいキッズ、1 回が部活動）の出張授業を実施した。998 人（うち 141 人があいキッズ、14 人が部活動）の園児・児童・生徒に環境教育の機会を提供することができた。この結果、これまでの累計で、

701 回の授業を実施し、その対象人数は 25,975 人となった。昨年度と比較し、回数・人数ともに減少となった。

2017 年度から始まったエコポリスセンターからの委託事業により、上記 48 回のうち 45 回がエコポリスセンターとの協働であった。

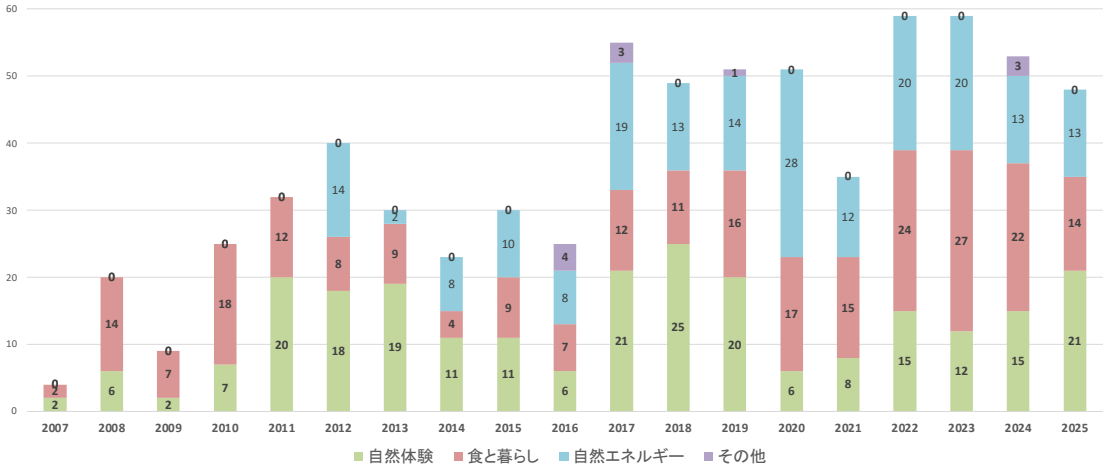


	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
中学校		2	4	7	4	4	4	2	2					15	3	5	4	3	1
小学校	4	18	5	18	14	21	8	6	16	12	39	46	38	21	13	17	27	22	16
保育園					14	15	18	15	12	13	16	3	13	15	22	37	28	28	31

プログラムの内訳では、食と暮らし分野の「大豆ってすごいぞ」と大豆栽培後の「学校産のとうふを作ろう」など、タネから育てて作るプログラムが保育園を中心に幅広く受け入れられる傾向が続いている。

自然エネルギー分野（地球温暖化などの地球環境問題含む）では保育園や小学校のあいキッズでの「水となかよし（幼児編）」「風となかよし」も継続して人気であった。

自然体験活動分野に関しては「季節の自然を感じよう」「そっとのぞいてみてみよう」などの自然体験のほか、小学校でのビオトープ作りに関するプログラムの実践が新たに加わった。



- 保育園・幼稚園における取り組みは、14 園で計 31 回に及び、その対象者数は 609 人となった。保育園・幼稚園での実践の内訳は以下の通り。

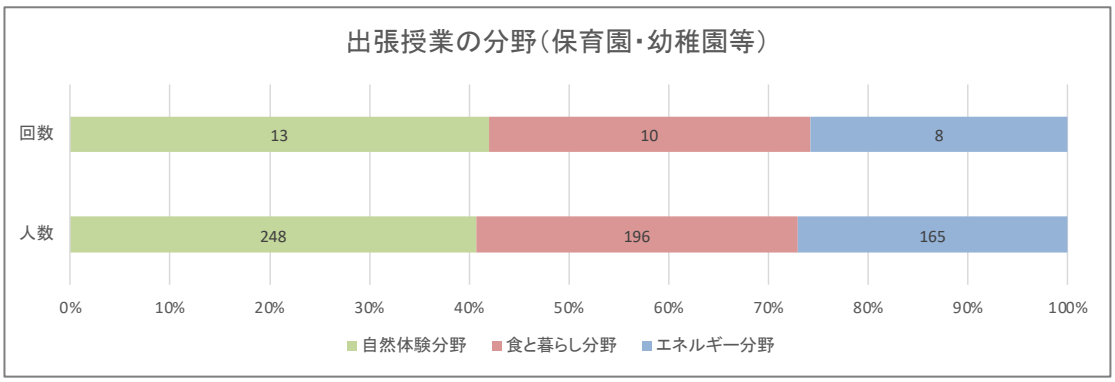
日付	保育園・幼稚園名	対象（人数）	プログラム名	備考
04月10日	つつじ保育園	5歳児（14人）	いも虫のたからぶくろ	
04月22日	つつじ保育園	4歳児（17人）	どんぐりコロコロ お山はおおさわぎ	
05月15日	高島平あやめ保育園	4・5歳児（18人）	はらっぱのかくれんぼ大会	
05月16日	まるやま保育園	4・5歳児（29人）	いも虫のたからぶくろ	
05月20日	第二たつの子保育園	5歳児（17人）	わたを育てよう	
05月23日	キッズタウンむかいはら保育園	5歳児（16人）	大豆ってすごいぞ	
05月27日	まるやま保育園	4・5歳児（30人）	大豆ってすごいぞ	
06月09日	ほっぺるランド成増	5歳児（12人）	わたを育てよう	
06月11日	上板橋保育園	5歳児（19人）	わたを育てよう	
06月19日	ソラストときわ台保育園	2歳児（12人）	花と葉っぱでファッションショー	
06月26日	こぶし保育園	4・5歳児（27人）	はらっぱのかくれんぼ大会	
07月08日	こぶし保育園	3歳児（15人）	風となかよし	
07月15日	ゆりのき保育園	5歳児（19人）	水となかよし（幼児編）	
07月17日	キッズタウンむかいはら保育園	5歳児（16人）	どんぐりコロコロ お山はおおさわぎ	
07月18日	ほっぺるランド板橋小豆沢	4歳児（13人）	風となかよし	
07月22日	まるやま保育園	4・5歳児（31人）	水となかよし（幼児編）	
08月26日	まるやま保育園	4・5歳児（31人）	お日さまとなかよし（幼児編）	
09月09日	こぶし保育園	4・5歳児（25人）	風となかよし	
09月11日	星樂保育園	5歳児（23人）	好きな色はどこにある	
09月17日	星樂保育園	4歳児（17人）	木の表情ってどんなだろう	
10月07日	まるやま保育園	4・5歳児（29人）	土の小人	
10月09日	ほっぺるランド板橋小豆沢	5歳児（7人）	好きな色はどこにある	
10月17日	ほっぺるランド板橋小豆沢	2歳児（12人）	花と葉っぱでファッションショー	
10月24日	まるやま保育園	4・5歳児（31人）	はらっぱのかくれんぼ大会	
11月06日	まきば幼稚園	4歳児（10人）	風となかよし	
11月18日	キッズタウンむかいはら保育園	5歳児（15人）	手前みそをつくろう	
11月20日	ほっぺるランド成増	5歳児（13人）	綿から糸を紡ごう	
01月20日	ベネッセ前野町保育園	4・5歳児（21人）	風となかよし	
01月26日	第二たつの子保育園	5歳児（18人）	綿から糸を紡ごう	
02月20日	まるやま保育園	4・5歳児（27人）	手前みそをつくろう	
03月25日	こぶし保育園	4・5歳児（25人）	木の表情ってどんなだろう	

プログラムの内訳では、今年度も実施分野が多岐に渡った。

自然体験活動分野では、「はらっぱのかくれんぼ大会」が 3 回、「いも虫のたからぶくろ」「どんぐりコロコロ お山はおおさわぎ」「好きな色はどこにある」が 2 回ずつなど、合計で 13 回の授業を行なった。

食と暮らし分野では「綿を育てよう」「大豆ってすごいぞ」の栽培に向けたプログラムと、大豆を育てた後の「学校産のとうふをつくろう」で合計 9 回の授業を行ったほか、堆肥づくりの活動である「土の小人」が 1 回、合計 10 回の授業を行なった。

自然エネルギー分野では、「風となかよし」が 5 回と最も多く実施され、続いて「水となかよし（幼児編）」が 2 回など、合計 8 回の授業を実施した。



保育園・幼稚園等では、2 園（区立保育園 1 園・私立保育園 1 園）で新たな実践を行った。その結果、対象となった保育園・幼稚園は 14 園（区立保育園 3 園・私立保育園 10 園・私立幼稚園 1 園）であった。区立保育園・区立幼稚園全 39 園に対して、これまでの活動を総合すると、38 園で授業を実践しており、その広がりは 97%に至っている。

相生	赤塚	赤塚新町	あさひが丘	大谷口	かないくぼ
上板橋	紅梅	小桜	さかうえ	坂下三丁目	志村橋
新河岸	高島平あやめ	高島平くるみ	高島平けやき	高島平さつき	高島平すみれ
高島平つくし	高島平つぼみ	高島平もみじ	東新	ときわ台	中板橋
西台	西前野	蓮根	緑が丘	みなみ	南前野
向台	向原	ゆりの木	若木	高島幼稚園	

2025年度 実施	2025年度 新規開拓	過去の実施

※ 2025 年度実施の つつじ保育園・まるやま保育園・第二たつのこ保育園・キッズタウンむかいはら保育園・ほっぺるランド成増・ソラストときわ台保育園・こぶし保育園・ほっぺるランド板橋小豆沢・星樂保育園・ベネッセ前野町保育園は私立保育園（公設民営含む）、まきば幼稚園は私立幼稚園（下線は新規開拓園）

※ 過去実施の ひまわりキッズガーデン城山・栄町保育園・志村さかした保育園・麦の子保育園・大山西町保育園・仲宿保育園・ほっぺるランド大谷口・ほっぺるランド志村坂上・ほっぺるランド本蓮沼・さくらさくみらい中板橋・ソラスト成増保育園・明日葉保育園 蓮根園・さくらさくみらい本町・白鳩保育園・さくら保育園・あすなろ保育園・さくらさくみらい新板橋・サンシティ聖母保育園・やまと保育園・はぁもにぃ保育園・メリーポピンズ 成増ルーム・ひまわりキッズガーデン大原・旭保育園は私立保育園、きよみ幼稚園は私立幼稚園、東京日仏国際学園は同年代を対象とした北区内の私立学校

※ 板橋区立弥生保育園は 2025 年 4 月より、板橋区立板橋保育園は 2024 年 4 月より民営化されている。

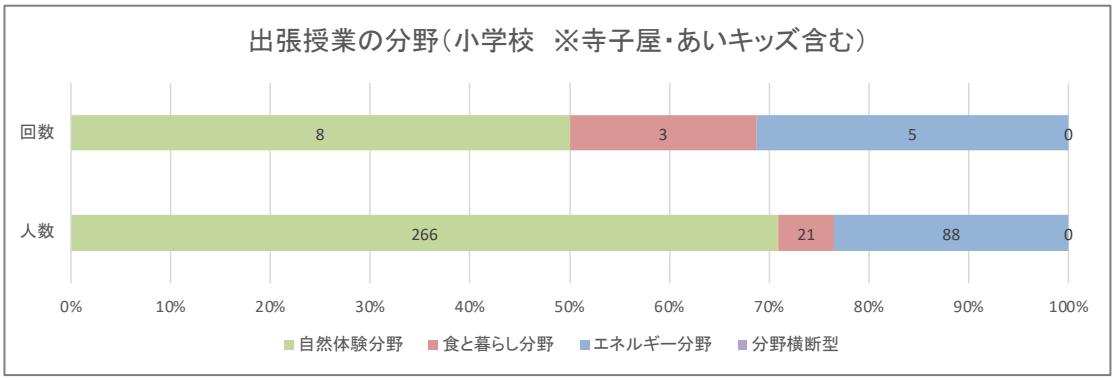
- 小学校における取り組みは、6 校で計 16 回（うち 4 校で 6 回があいキッズ）に及び、その対象者数は 375 人（うち 141 人があいキッズ）となった。今年度は寺子屋での指導はなかった。小学校での実践の内訳は以下の通り。

日付	学校名	対象（人数）	プログラム名	備考
06月17日	板橋第四小学校 あいキッズ	参加者（38人）	風となかよし	学童
06月25日	天津わかしお学校	4年生（3人）	わたを育てよう	
06月25日	天津わかしお学校	3・4年生（5人）	水となかよし	
07月24日	上板橋第四小学校 あいキッズ	参加者（30人）	いも虫のたからぶくろ	学童
08月28日	上板橋第四小学校 あいキッズ	参加者（28人）	はらっぱのかくれんぼ大会	学童
10月02日	板橋第二小学校	3年生（32人）	ビオトープってなんだろう	
10月02日	板橋第二小学校	4年生（26人）	ビオトープってなんだろう	
10月06日	板橋第二小学校	3年生（32人）	ビオトープをデザインしよう	
10月06日	板橋第二小学校	4年生（26人）	ビオトープをデザインしよう	
10月23日	高島第一小学校 あいキッズ	参加者（24人）	風となかよし	学童

11月04日	天津わかしお学校	3・4年生（9人）	綿から糸を紡ごう	
11月04日	天津わかしお学校	3・4年生（9人）	プラスチックごみを減らそう	
11月11日	板橋第二小学校	5・6年生（51人）	ビオトープをつくろう	
01月14日	北野小学校 あいキッズ	参加者（17人）	風となかよし	学童
01月30日	板橋第二小学校	2年生（41人）	ビオトープをつくろう	
02月17日	高島第一小学校 あいキッズ	参加者（4人）	水となかよし	学童

プログラムの内訳として、小学校では板橋第二小学校でビオトープ作りのプログラム、天津わかしお学校で「わたを育てよう」「綿から糸を紡ごう」の綿に関するプログラムや「水となかよし」「プラスチックごみを減らそう」が学校側の希望により実践された。

あいキッズでは、「いも虫のたからぶくろ」などの自然体験、「風となかよし」などの工作活動が好まれ実践された。



小学校では、対象となったのは計２校（あいキッズ４校を除く）であった。区内小学校に関して、これまでの活動を総合すると、47 校で授業を実践しており、その広がりは約 90%に至っている。

志村	志村第一	志村第二	志村第三	志村第四	志村第五
志村第六	前野	中台	舟渡	新河岸	富士見台
蓮根	蓮根第二	志村坂下	北前野	緑	若木
板橋第一	板橋第二	板橋第四	板橋第五	板橋第六	板橋第七
板橋第八	板橋第十	金沢	中根橋	加賀	上板橋
上板橋第二	上板橋第四	常盤台	桜川	弥生	大谷口
向原	赤塚	成増	赤塚新町	紅梅	北野
成増ヶ丘	下赤塚	徳丸	三園	高島第一	高島第二
高島第三	高島第五	高島第六	天津わかしお		

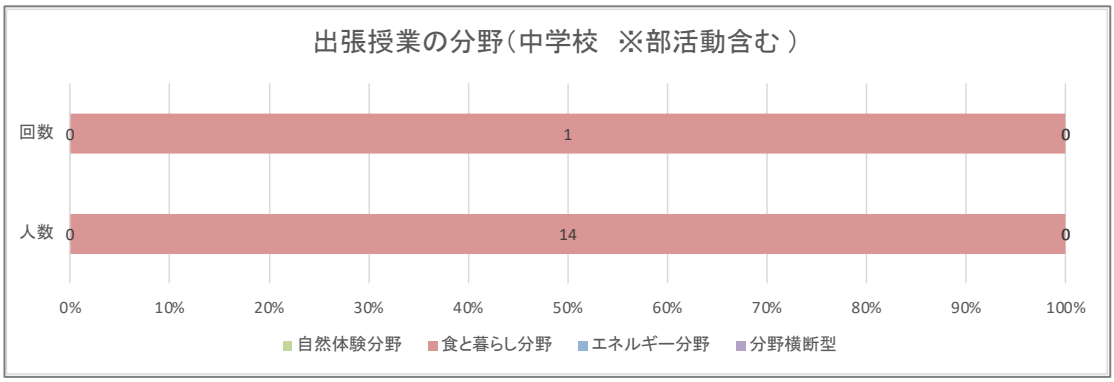
2025年度 実施	2025年度 新規開拓	過去の実施

※ 2025 年度実施の板橋第四小学校・上板橋第四小学校・高島第一小学校・北野小学校は、あいキッズでの実践のため除外している。

- 中学校における取り組みは、１校で計１回（うち１校で１回が部活動）に及び、その対象者数は 14 人（うち 14 人が部活動）となった。中学校での実践の内訳は以下の通り。

日付	中学校名	対象（人数）	プログラム名
02月03日	板橋区立西台中学校	環境科学部（14人）	ペットボトルの水

プログラムの内訳は、部活動での「ペットボトルの水」で、部活動の担任・生徒の要望に合わせたプログラム実践となった。



- 高等学校では、本年度、出張授業の取り組みは行わなかった。

- これらは、SOE のメンバーが中心になりながら、ボランティアに支えられて成り立っている。今年度は 48 回の活動で、延べ 207 人が参加した。1 回あたりの参加者は 4.3 人で、昨年と比べほぼ横ばいとなった。

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	**2025**
回数	5	23	10	28	34	41	31	23	30	20	55	49	51	51	38	56	59	53	**48**
スタッフ数	-	-	54	130	147	179	98	73	88	53	206	183	203	194	119	208	242	228	**207**
1回あたり	-	7.4？	5.4	4.6	4.3	4.4	3.2	3.2	2.9	2.7	3.7	3.7	4.0	3.8	3.1	3.7	4.1	4.3	**4.3**

A.1.5　周年事業 環境学習 1 日体験館

- 2025 年度に開催して好評を得た「環境学習 1 日体験館」について、今年度は実施しなかった。今後の実施については検討を進めていく。

A.2　環境教育指導者（主体）養成事業

A.2.1　環境教育ボランティア・インターンシップ

- ボランティアの募集に向けて、ボランティア募集サイト activo の有償版を利用し、27 名のインターネット上での申し込みがあった。うち 11 名が実際の活動に参加した。WEB サービスを活用した数値のため、初回参加者の参加の比率についての評価は難しいが、より利用者のニーズに即した対応を心がけていく。また、継続参加に繋がる働きかけ、参加したボランティアスタッフの学びの機会の提供などにも力を入れていく必要がある。

	2025年									2026年			集計	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	割合
応募数	0	2	3	2	2	4	2	5	2	3	0	2	27	100.0%
説明会参加		2	1	1		2	1	1	1	1		1	11	40.7%
ボランティア参加者数		2	1			2	1		1	1		1	9	33.3%
（うち複数回参加者数）		1					1		1	1		1	5	18.5%

A.2.2　地域主体の支援（プログラムの共同開発ほか）

- 大学のゼミ活動など、環境教育の地域における担い手を育成する事業を継続している。

A.2.3 教員養成・教員向けの講座

- 今年度は該当の活動を実施しなかった。

A.3　環境教育協働推進事業（環境教育ネットワーク構築活動）

A.3.1　環境教育協働実践

- 委託事業を行っているエコポリスセンターとの連携を除いて、今年度は該当の活動を実施しなかった。

A.3.2　プログラムの共同開発

- 今年度は該当の活動を実施しなかった。

B　環境保全の事業

B.1　自然環境保全活動

B.1.1　ビオトープ保全活動

- 地球環境基金ひろげる助成に「ビオトープがつなぐ板橋の自然プロジェクト」が採択され、2024 年度から 3 年間助成を受けることとなった。活動概要は以下の通り。
  「幼稚園・保育園・学校等において、地域の自然生態系を踏まえたビオトープづくりに取り組むことで、そこに通う子どもやその保護者、地域住人の地域の自然への興味関心を高めるとともに、ビオトープを通して定期的に自然との関わる中で、地域の自然環境への親しみを育んでいく。」
  本事業は、①学校ビオトープづくり・保全プログラムの開発・実践、②学校ビオトープサポーター制度の創設、③地域の自然環境への理解促進プログラムの 3 つで構成される。

- ①学校ビオトープづくり・保全プログラムの開発・実践では、環境教育プログラム研究会において、「ビオトープをつくろう」のプログラムの検討を行い、プログラムの資料等を作成した。プログラムの内容は周年記念冊子に掲載したほか、板橋第二小学校において、プログラムの実践を行った。

- ②学校ビオトープサポーター制度の創設では、保育園・幼稚園・学校等のビオトープ改修活動・保全活動などを支援するにあたり、ボランティアを募集した。改修活動・保全活動としては、4 月に蓮根第二小学校での保全活動を行ったほか、板橋第二小学校・まきば幼稚園で改修活動を行った。改修活動の記録は以下の通り。

板橋第二小学校

日付	区分	活動内容	一般参加	スタッフ	費用
2025年6月10日	打ち合わせ	改修相談		2	
2025年9月19日	（業者作業）	赤土搬入（水研クリエイト）			14,300
2025年9月23日	改修作業	掘削作業	4	4	
2025年10月2日	出張授業	「ビオトープってなんだろう」※3～4年生対象	-	4	
2025年10月6日	出張授業	「ビオトープをデザインしよう」※3～4年生対象	-	3	
2025年10月9日	打ち合わせ	実地調査（測量）		1	

2025年10月13日	改修作業	掘削作業	3	3	
2025年10月25日	打ち合わせ	（作業日が雨天のため打ち合わせに変更）		1	
2025年11月5日	（業者作業）	塩ビ系防水シート、養生シート 加工（水研クリエイト）			95,480
2025年11月11日	出張授業	「ビオトープをつくろう」※3～6年対象	-	3	
2025年11月17日	（業者作業）	荒木田土、野草マット 搬入（水研クリエイト）			107,910
2025年12月10日	完成式典	ビオトープ完成式典		1	
2026年1月30日	出張授業	「ビオトープをつくろう（植物を植えよう）」※2年生対象		3	
			7	25	217,690

まきば幼稚園

日付	区分	活動内容	一般参加	スタッフ	費用
2025年11月25日	打ち合わせ	実地調査		1	
2025年11月28日	（業者作業）	赤土搬入・一輪車貸し出し（水研クリエイト）		1	98,175
2025年11月29日	改修作業	掘削作業・土嚢作成	3	3	
2025年12月5日	（業者作業）	赤土搬入（水研クリエイト）			55,825
2026年1月8日	打ち合わせ	実地調査		1	
2026年1月16日	（業者作業）	防水シート設置、排水設備設置①（水研クリエイト）			
2026年1月17日	改修作業	土嚢・遮水シート設置	5	3	
2026年2月3日	（業者作業）	防水シート設置、排水設備設置②（水研クリエイト）			242,330
2026年2月11日	改修作業	土嚢・遮水シート設置	4	3	
			12	12	396,330

改修活動 5 回にのべ 19 人が参加した。4 月 27 日に行った蓮根第二小学校での保全活動への参加者 10 名と合わせて、のべ 29 人が保全・改修活動に参加した。

上記ボランティアは主に activo を通して募集を行った。2025 年度は activo を通して 24 人から応募があり、9 人が実際の活動に参加した。

	2025年									2026年			集計	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	割合
activo 応募数	5	4	2	2	5	0	1	0	1	1	2	1	24	100.0%
説明会参加	4	1			2					1	1		9	37.5%
初回参加者数	4	1			2					1	1		9	37.5%
（うち複数回参加者数）	3				1					1			5	20.8%

- ③地域の自然環境への理解促進プログラムでは、板橋の自然に関する学習会・観察会の開催を開催した。観察会の一覧は以下の通り。

日付	タイトル	講師	参加者	スタッフ	場所
2025年6月28日	地形でまちを読み解こうー志村三泉とスリバチめぐりー	皆川 典久	5	5	志村坂上駅～清水坂～薬師の泉～小豆沢公園～小豆沢神社～小豆沢河岸公園～志村一里塚～見次公園～熊野神社～出井の泉跡～長徳寺～氷川神社～本蓮沼駅
2025年7月27日	夏のトンボの空の旅　赤塚溜池公園でトンボの観察会	喜多 英人	9	4	板橋区四葉集会室（座学）→赤塚公園・赤塚溜池公園（観察会）
2025年8月23日	夏の自然とチョウの不思議　石神井公園でチョウの観察会	神山 健次	10	6	石神井公園
2025年9月6日	クモの世界をのぞいてみよう　都立赤塚公園でクモ学習会	谷川 明男	3	6	赤塚公園（観察会）・高島平4丁目集会所（座学）
2025年10月19日	学校ビオトープで重要な水辺の植物の学習会・観察会 in 荒川河川敷	神尾 駿介	15	5	板橋区立リサイクルプラザ（座学）・荒川河川敷（観察）
2026年2月23日	都会の公園でカエルを見つけよう～アズマヒキガエルの学習会・観察会～	熊田 玲奈	9	7	毛利地区集会所（座学）・猿江恩賜公園（観察）

板橋の自然に関する学習会・観察会のまとめとして、2 月 22 日にシンポジウムを開催した。常葉大学名誉教授の山田辰美氏に基調講演をいただいた上で、水研クリエイト株式会社の尾坂尚之氏、板橋区立緑小学校の市之瀬輝明氏、板橋区環境政策課の河野雅彦氏・森憲一氏がシンポジストとして登壇して学校ビオトープの役割などを中心に意見を交わした。47 名（スタッフ 17 名含む）が参加し、ビオトープの意義や今後のビオトープづくりの展望を考えることができた。

B.1.2　ごみ拾い活動

- 全国一斉水質検査に関して、今年度は該当の活動を実施しなかった。

B.1.3　緑地の保全・拡張に向けた活動

- 今年度は該当の活動を実施しなかった。

B.2　地産地消推進活動

B.2.1　栽培活動

- 大豆・綿に関する環境教育プログラムの実施に合わせて、それぞれの苗を育て、希望のあった学校・保育園に配布した。

B.3　自然エネルギー推進活動

B.3.1　自然エネルギー普及活動

- 今年度は該当の活動を実施しなかった。

C　社会教育の事業

C.1　エコツアー事業

C.1.1　沖縄・備瀬エコツアー

- 今年度は該当の活動を実施しなかった。

C.1.2　三宅島エコツアー

- 今年度は該当の活動を実施しなかった。

C.2　自然観察会・各種環境講座

C.2.1　自然観察会

- 今年度は該当の活動を実施しなかった。

C.2.2　環境講座

- 前回開催に関わった「いたばし ECO フェスタ 2024～ユース環境活動発表会～」の次回の開催時期について、事業に関わるスタッフの状況を加味して支援を検討することとなった。

C.3　講師派遣による環境教育プログラム実践

C.3.1　児童館における環境教育プログラム実践

- 2 月 10 日に板橋区立はすのみ児童館において、親子向け講座を開催した。「風の子フーのなみだ」を行い、親子 12 人が参加した。

C.3.2　社会教育施設等における環境教育プログラム実践

- 今年度は該当の活動を実施しなかった。

C.3.3　その他団体等における環境教育プログラム実践

- 今年度は該当の活動を実施しなかった。

C.4　各種イベント出展

C.4.1　イベント向けプログラム研究開発

- イベントのテーマや環境などを踏まえ、随時プログラムの準備を進めた。

C.4.2　外部イベント出展

- 今年度は該当の活動を実施しなかった。

C.4.3　板橋区協働イベント出展

- 5 月 11 日に板橋区（緑と公園課）主催のグリーンフェスタに出展。「風となかよし」のかざぐるま作りの体験のほか、メインステージにて「いも虫のたからぶくろ」の活動を行なった。
- 8 月 4 日にエコポリスセンターが主催する夏休みエコスクールに出展。「風となかよし～かざぐるまでピカっと光る電気をおこそう～」というタイトルで、かざぐるま作りと風力発電機作りを実施し、20 人が参加した。
- 2 月 7 日・2 月 8 日に環境なんでも見本市に出展。環境教育の取り組みの報告や、「ドングリでつくろう・あそぼう」というタイトルでどんぐり工作を行った。

C.5　板橋区指定管理者受託

C.5.1　板橋区立ボローニャこども絵本館管理業務委託

- 平成 30 年度をもって、委託事業は終了となった。

D　まちづくりの事業

D.1　地域団体連携事業

D.1.1　地域環境団体との連携事業

- 板橋区を中心とした範囲で活動する環境団体との連携を進めるべく検討を行っている。

E　福祉の事業

E.1　福祉団体連携事業

E.1.1 地域福祉団体との連携事業

- 板橋区を中心に福祉団体と環境の分野での連携を進めるべく検討を行っている。

F 学術・文化・芸術又はスポーツの振興事業

F.1 文化団体連携事業

F.1.1 地域文化団体との連携事業

- 板橋区を中心とした範囲で活動する文化団体やスポーツ団体との連携により、文化・スポーツと環境問題とのつながりを周知する活動を検討している。

G 団体運営業務

G.1 組織運営

G.1.1 一般管理

- 6 月に 2025 年度の年次総会を開催。活動報告・会計報告・活動方針・会計方針について報告し承認を得た。

G.1.2 理事・事務局関連

- 運営体制の強化に向けて、ニュース発行日に合わせて、月 1 回の頻度で理事会を開催した。理事を中心としたイベントの運営体制の確立や 20 周年に向けた活動の計画などを議論した。
- 事務局では、活動報告・会計報告に関して、書類を整理し報告にあたる。その他、運営・経理・広報などの事務局業務を随時行った。

G.1.3 会員関連

- 会員の呼びかけを進め、正会員数は 30 人、賛助会員数は 1 人となった。

G.1.4 記念活動

- SOE ニュース 200 号の発行並びに 2024 年度に設立 20 周年を迎え、周年記念冊子の出版と 6 月 7 日に 20 周年を祝う会を行った。出版記念を兼ねた祝う会には、行政関係者をはじめセンスオブアースの活動を支えてくれた多くの方々に参加いただき、これまでの活動の振り返るとともに今後の展望を得る機会となった。

G.2 経理関係

G.2.1 一般会計

- NPO 法人会計基準協議会の定める NPO 法人会計基準に基づいた会計処理を実施した。

G.2.2 助成金・コンクール等申請関連

- 地球環境基金のひろげる助成に申請した「ビオトープがつなぐ板橋の自然プロジェクト」が採択され、2 年目の助成活動を行った。3 年目に向けても申請等を行った。

G.3　広報関連

G.3.1　一般広報

- センスオブアースの活動紹介資料を随時改定した。

G.3.2　ホームページ関連

- オフィシャルサイトを定期的に更新し、イベントの案内や団体の周知を進めた。
- 特設ページ「SOE プログラムバンク」では環境教育のプログラムや資料などを発信した。
- Facebook ページに関しても、随時更新した。

G.4　渉外関連

G.4.1　協働推進関係

- 2017 年度からのエコポリスセンターの指定管理者変更を受けて、新管理者の板橋エコみらいプロジェクトの担当者と環境教育の協働や運営に関する意見交換を行う。計 4 回行い、速やかで発展性のある協働での出張授業のスタイルを作り上げることができた。